

令和 7 年度 鈴鹿和順学園 地域連携推進会議 議事録

日時:令和 7 年 9 月 30 日(火)10:00~12:00

(※見学…10 月 18 日午後に委員 2 名)

場所:鈴鹿和順学園 2F デイホール

出席者:(委員)鈴鹿市上田町山の花自治会会長、鈴鹿市健康福祉部障がい福祉課職員、鈴鹿市基幹相談支援センター職員、鈴鹿和順学園利用者代表、家族代表(5 名)

(法人職員)社会福祉法人和順会理事長、鈴鹿和順学園施設長(2 名)

議事

(1) 会議の目的・概要説明

・地域連携推進会議は、利用者と地域の関係づくり、地域の人への施設や利用者に関する理解促進、サービスの透明性・質の確保、利用者の権利擁護の推進を目的として実施。

・施設と情報共有や意見交換を行い、施設のことを知っていただくとともに、施設と地域のつながりづくりをお願いしたい。

・施設に訪問していただき、施設見学や利用者・職員とのコミュニケーションを通じて、施設内の様子などを確認していただきたい。

(2) 事業の紹介(※別資料・パワーポイントにて)

・昭和 37 年に鈴鹿市加佐登町に精神薄弱児施設鈴鹿和順学園(定員 30 名)を開設。昭和 45 年に現在の上田町に新築移転。平成 11 年に改築し、知的障害者更生施設に種別変更。現在の事業は施設入所支援、生活介護、短期入所事業(3 名)を行っている。

・利用者状況…21 歳から 82 歳の利用者(男性 24 名・女性 6 名)が入所しており、元気に走り回る方と車椅子で生活されている方が一緒に生活。行動に課題のある方が複数名利用。

・近隣からの苦情等…利用者個々で施設外にお出かけされ、ご心配をおかけすることが多数あり。そのひとつが近隣の家の敷地内や畑に入り、みかんを食べ散らかすことがあった。また、未明に火災報知器が鳴ったり、救急車が頻繁に出入りすることがある。

・地域交流…秋祭り(夏祭り)には学生等ボランティアさんに準備や片づけだけでなく、店舗の運営や利用者さんとの交流をしてもらっている。そのほかの行事もあり、様々な方に演奏など余暇活動の充実に貢献してもらっている。また、地域の小中学校の生徒の施設見学や職業体験も実施。防災については地域との連携の動きが取れていないので、機会があればお願いしたい。

(3) 意見交換

<防災について>

・地域の体制が整ったらできる範囲で協力できれば良い。

・BCP(事業継続計画)の訓練を地域の方にも協力してもらい実施した方が良い。緊急時の様子をお伝えして計画的に実施ができれば。夜間の火災や水害などバリエーションを変えた訓練の様子を地域の方に見ていただいて、協力していただけそうなところを確認する。より実効性のあるものを地域の方と作り上げることが大事。

<利用者支援について>

・利用者さんをどのような状態まで支援していくのか？看取りまで支援するのか？できれば介助度が上がり対応が難しいステージに差し掛かった際は介助度を出して移行した方が良い。

→鈴鹿和順学園では、日々医療が必要になったり、経口での食事が難しくなった場合に次のステージに移行してもらっている。

・睡眠に障害のある方の状態について？

→完全に昼夜逆転している方はいないが、日が変わったくらいに起床するケースが複数ある。以前取り組みがうまくいかずに精神科に入院して服薬の調整等を行い、夜間の睡眠時間が増加したケースがあった。

<虐待防止について>

・どれくらいの頻度、どういった方が入って虐待防止委員会を実施しているか？

→法人の各部署で虐待防止の研修や取り組みを実施。それらの取り組みを受けて各事業の代表者が集まり3か月に1度状況の報告など会議を実施。

・身体拘束適正化委員会の実施は？三要件(一時性・非代替性・緊急性)を検討しているか？

→虐待防止委員会と同じ日に実施。1ケースつなぎを着用して就寝されている方を検討。

<その他>

・地域で道路脇の不法投棄の問題があり、鈴鹿和順学園も協力していくことを約束。

(4) 施設見学について

令和7年10月18日(土)に委員2名が見学され、園内の利用者さんと関わっていただく。施設内に至るところに穴が開いていることを確認された。